

第4回 高田地区中心市街地活性化協議会準備会 議事要旨

日時：平成20年3月28日（金） 13:30～14:30

場所：上越商工会議所3階大会議室

出席者：別紙名簿参照（出席者24名、服部氏、市担当職員6名、会議所担当者5名）

議事要旨

1. 会頭あいさつ

委員皆様の意見を聞きながら、基本計画について3回協議を重ねてきた。今回でもって、協議を終わらし、市長に意見書を提出したい。皆様が合意し、提出できるように検討をお願いしたい。そのような意味も込め、本日は副市長に出席いただいた。今回を仕上げとして進めていただきたい。

2. 協議会会長あいさつ

中心市街地活性化には行政と民間の連携プレーが重要となる。今日は副市長が出席なので、上越市の意気込みを聞かせていただけたらと思う。国へ提出する時間の問題もあり、今回で協議を一区切りすることを理解いただきたい。今回の計画は完璧なものではなく、下絵のようなものである。それに肉付けしていくのは協議会のメンバーの力であり、今後とも力を注いでいただきたい。国の認可を早くもらえるように協力をいただきたい。

3. 副市長あいさつ

今回まで協議会に出席できず、まずはお詫びを申し上げる。上越のまちづくりは始まったばかりである。上越の未来が問われている中で、皆様の知識、経験、力を結集して進めていけることは地域の活力へとつながる。中心市街地活性化推進室が地域の活力を生み出す事業に取り組み、また皆様の意見を計画に反映させて、事業者を応援しながら進めていく。計画は始まったばかりであり、これからが正念場となる。20年、30年後をにらみ、限られた財源を有効に活用する。競争に埋もれないようにまちづくりに頑張っていきたい。

4. 検討内容及び意見交換（：委員、：上越市担当者、：服部アドバイザー）

上越市高田地区中心市街地活性化基本計画（素案）の説明

上越市中心市街地活性化推進室：折橋室長から、資料1に基づき説明。

内閣府と協議をしている段階。両地区の定義については了解をもらったが、数値目標については、より中心市街地と分かるようなものにしてもらいたいと言われている。事業内容については概ね了解をもらった。4月から1ヶ月間パブリックコメントを行い、その間も国と協議しながら、早い段階の認定を目指したい。

質疑

目標数値で歩行者20%増等厳しいところもある。実効性があるか。

地点を変更して調査した結果、高めの目標にした。

駅の乗降客の件で、以前質問したがどうなったのか。

高田駅5,300人とした。街のにぎわいを高める目標に絞った。

高田地区事業検討報告

上越商工会議所：渡部次長から、資料2に基づき説明。経済産業省補助金を活用し、検討した内容および事業推進体制を報告。

高田地区中心市街地活性化基本計画（素案）に対する意見書（案）について

上越商工会議所：渡部次長から、資料 3 に基づき説明。

佐藤会長：第 3 回協議会にて執行部一任を受けたので、市と協議して作成した。計画は 5 年以内の実行と目標数値を明確にしなければならない。意見書は基本計画申請に必須である。事業実行に 5 年以上かかりそうなものについては、要望としてまとめて意見書と一緒に提出し、実行する環境が整った時に基本計画に盛り込んでいただくことを願う。

佐藤会長より承認同意を求め、満場一致で承認した。

平成 20 年度戦略的中心市街地商業等活性化支援事業補助金申請について

上越商工会議所：渡部次長から、資料 4 に基づき説明。併せて、同補助金を活用し、タウンマネージャーを設置したい旨を説明。

佐藤会長：中心市街地活性化を進めていくうえで、経験・実績を街づくりに活かした専門家の存在は重要である。ぜひ、服部氏にお願いしたいが、一同ご承認いただきたい。

満場一致で承認。

服部アドバイザー兼タウンマネージャーより総括。

佐藤会長より、意見書をまとめ上げる協力を委員皆様からいただいた旨謝辞。

上越市竹田部長より謝辞。

以上をもって、第 4 回協議会を終了した。